

平成 30 年度東北地方ブロックにおける大規模災害に備えた地方公共団体による 災害廃棄物処理計画作成支援業務（岩手県及び山形県に所在する市町村対象）

—花巻市 第 1 回検討会 検討事項の要点—

日時：平成 30 年 9 月 20 日 13:30～16:00
場所：花巻市生涯学園都市会館 第 5 学習室（花巻市花城町 1 番 47 号）

【検討事項の要点】

1. 災害廃棄物発生量推計の方針

- ・ 平成 29 年実施の盛岡広域 8 市町を対象とした災害廃棄物発生量推計の方法（方針 1）と岩手県の被害想定と岩手県市町村災害廃棄物処理マニュアルに基づく推計方法（方針 2）を比較。
- ・ 県被害想定 of 北上川低地西縁断層帯北部地震では、震度 6 弱の想定であり、方針 1 に基づく、全半壊棟数 17,000 棟は県被害想定（大破 527 棟）に比べて著しく多いものとなっていることから、処理計画の推計としては、方針 2 を基本として、検討を進める。

（第 2 回検討会での対応方針）

- 方針 2 を基本に各種検討を実施。（方針 1 は参考として報告書に記載）

2. 仮置場の必要面積

- ・ 避仮置場必要面積の推計値が最大 11ha は、最大値の日安と考えられる。
- ・ 仮置場までの距離規定はなく、機能面、環境面から優先事項を検討する。

（第 2 回検討会での対応方針）

- 対応事項なし（今後の計画策定の基礎資料とする）

3. 災害廃棄物処理フロー

- ・ フローの設定条件については、問題ない。施設が稼働不能になった場合の対応として、広域処理を検討する。

（第 2 回検討会での対応方針）

- 対応事項なし（第 1 回検討会で未提示の水害のフローを追記、広域処理については、計画策定において整理する）

4. 災害廃棄物の性状

- ・ 災害廃棄物は、平時のごみとは状態が異なるが、現状では性状に関する予測はできない。

（第 2 回検討会での対応方針）

- 対応事項なし

5. 処理困難物

- ・ 石膏ボードや産廃との区分、事業系ごみへの対応方法などの問題に関する説明があった。

(第2回検討会での対応方針)

- 対応事項なし

6. 思い出の品

- ・ ボランティアへの指示内容の明確化、保管事務の分掌について庁内における位置づけ等に関して説明があった。

(第2回検討会での対応方針)

- 対応事項なし

7. 便乗ごみ

- ・ 便乗ごみ対策として、広報等を活用した市民への啓発等の必要性等に関する説明があった。
- ・ ブラウン管テレビの排出事例の紹介があった。

(第2回検討会での対応方針)

- 対応事項なし

8. 廃家電

- ・ 停電した場合、冷蔵庫内の食品等の腐敗性廃棄物の発生リスクがあることについての説明があった。

(第2回検討会での対応方針)

- 対応事項なし

8. 廃自動車

- ・ 廃自動車について、所有者への意思確認までの保管方法等の留意点等について、説明があった。

(第2回検討会での対応方針)

- 対応事項なし

以上